

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	◎
				地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
				地域コミュニティ・集落再生		環境	
				地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		はなき まさお					
氏 名		花木 正夫					
所 属	名 称	JA大分中央会県域担い手サポートセンター担い手支援部					
	役 職	考査役次長					
連 絡	住 所	(公開)	〒 870-8635				
			大分県大分市古国府六丁目4番1号				(職場)
	連絡先	(公開)	E-Mail hanaki-masao[アットマーク]zennoh.or.jp				
		(公開)	TEL 097-535-7011		FAX 097-538-7125		
	連絡方法	E-Mailでお願いします					
略歴		<p>高校卒業後、当時の大分経済連に入会。17年間管理部門においてJAグループ経済事業全般について理解を深める。肥料農薬営業販売担当として多くの系統外農家への系統回帰営業。市場流通販売・実需者への直接販売・EC事業を経験する中で農業労働力不足への対応が農業生産基盤対策及び地方創生に不可欠であることに気づく。そこから大分モデル労働力支援事業が稼働を始めるまでの2年間は圃場が職場となる。自分の強みはすべて現場目線(農家との話し合い)からであること、すべての施策は「自分ならやるか?」の視点ですべての取り組みをおこなっています。この取り組みは平成30年度食料・農業・農村白書に「必要なときに必要なだけの労働力を供給できる仕組みの構築(大分県)」で掲載されています。また2020ノウフクアワードで優秀賞・審査員特別賞を受賞いたしました。昨年度からJA全農おおいと→JA大分中央会へ出向し集落営農法人を中心とする米・麦・大豆の土地利用型農業の維持・再生に取り組みの幅を広げています。</p>					
著作・論文等		日本農業市場学会(労働力不足に対する全農の取り組み)(令和元年7月6日神戸大学)					
取組概要		<p>2013年より農業分野における労働力不足に対応する為「パートナー企業と連携した農作業請負の仕組み作り」及び「ノウフク連携」に取り組んできました。また、「農泊」・「農業学校教育」・「就労支援」・「副業」・「異業種間連携」と組み合わせ「農業労働力支援事業を核とした地方創生」を目指しています。この大分モデルも少しずつ全国に広がっており、地方における人口減少のスピードを緩やかにし、就農希望者を広くリクルートする環境整備をおこないます。この取り組みを通じて農業に関わるハードルを下げることで「働くハードル」も下がりました。社会的弱者救済・ミッシングワーカー層の社会参加のキッカケにもなっています。</p>					
メッセージ		<p>農業分野における労働力不足への対応をノウフク連携・副業・異業種間連携等の方策を用いて地域活性化を検討される自治体の皆様方の相談をお待ちしています。今全農では91農業(あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れてみませんか?)普及に向け取り組み拡大を目指しています。自分の過去の取り組みについてはWEBで「花木正夫」で検索していただければ大まかな取り組み概要は出てきます。</p>					
関連ホームページ		<a href="https://www.zennoh.or.jp/ot">https://www.zennoh.or.jp/ot</a>				活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。